

改訂日 2026年05月20日 (第2版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	サイモデイス DC
デザインコード	A21708E
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSE グループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
急性中毒相談先	日本中毒情報センター 中毒110番 一般市民向け受信相談(情報料無料): 大阪 (365日・24時間): 072-727-2499 つくば(365日・24時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(Syngenta 負担): 大阪 (365日・24時間): 072-726-9923 つくば(365日・24時間): 029-851-9999
推奨用途	殺虫剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
生殖毒性	区分2
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1
GHS ラベル要素	
絵表示又はシンボル	



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。 H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。
注意書き	

安全対策 P203 使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。

- P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 応急措置 P318 ばく露またはその懸念がある時、医学的助言を求めること。
 P391 漏出物を回収すること。
 保管 P405 施錠して保管すること。
 廃棄 P501 内容物／容器を都道府県／政令指定都市等の規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
 知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分

化学名	CAS No.	含有量 (%)	化審法(ENCS)/ 安衛法 (ISHL) 番号
イソシクロセラム	2061933-85-3	9.3	8-(7)-2074

4. 応急措置

- 一般的アドバイス 緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意すること。
- 吸入した場合 被災者を空気の新鮮な場所に移す。
 呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行う。
 患者を暖かく安静にしておく。
 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
- 皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣服を脱がせる。
 直ちに多量の水で洗い流す。
 皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡すること。
 汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水ですすぐ。
 コンタクトレンズをはずすこと。
 直ちに医師の診察を受ける必要がある。
- 飲み込んだ場合 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せること。
 無理に吐かせないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 特定されていない。
 既知または予期される症状はない。
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
- 医療関係者への情報 専用解毒剤は入手できない。
 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤 小規模火災時： 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二

	酸化炭素を使用する。
	大規模火災時: 耐アルコール性泡消火剤、噴霧放水
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。
有害燃焼副産物	分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。 炭素酸化物 窒素酸化物(NOx) 塩素化合物 フッ素化合物
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。
消火を行う者の保護	水を噴霧して密閉容器を冷却する。 完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。 河川または下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及び機材	漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、パーミキュライト等)を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる(「13. 廃棄上の注意」を参照)。 汚染表面全体を十分にきれいにする。 洗剤できれいにする。溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を保管し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱注意事項	火災に対する特別な対策は必要ない。 皮膚や眼への接触を避けること。 使用中は飲食及び喫煙を禁止する。 個人保護については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。
接触回避	知見なし。
保管	
安全な保管条件	特別な保管条件は必要ない。 容器を密閉して、乾燥した、涼しく換気の良い場所で保管する。 子供の手の届かないように保管すること。 食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度

成分	CAS 番号	指標	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
イソシクロセラム	2061933-85-3	TWA	0.4 mg/ m ³	Syngenta (2025 年)

設備対策

ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる。

保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。

空気濃度を管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度値以下に保つ。

必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求める。

保護具
呼吸用保護具

通常、呼吸用保護具は必要ない。

労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定呼吸器を使用すること。

手の保護具
材質

ニトリルゴム

破過時間

> 480 min

手袋の厚さ

0.5 mm

備考

保護手袋を着用すること。適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。製造者によっても違うので、その点にも注意する。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。破過時間は、素材の特徴の中でも、手袋の厚さと種類によって決定されるので、その時々測定されなければならない。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候がわずかにでもある場合は、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具

特別の保護具は必要ない。

必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。

汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。

必要に応じて着用：

不浸透性衣服

保護対策

個人用保護具ではなく技術的対策を優先すること。

個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求めること。

9. 物理的及び化学的性質
物理状態

液体

色

暗褐色

臭い

データなし

臭いのしきい(閾)値

データなし

融点/凝固点

データなし

沸点, 初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性(固体、気体)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃 上限値	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃 下限値	データなし
引火点	110 °C 方法: ペンスキーマルテンス密閉式引火点試験
分解温度	データなし
pH	2.5 - 6.5 含有量: 1 %w/v
蒸発速度	データなし
自然発火温度	410 °C
粘度	
粘度(粘性率)	データなし
動粘度(動粘性率)	データなし
溶解度	データなし
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度	1.08 g/cm ³ (20 °C)
相対ガス密度	データなし
爆発特性	爆発性なし。
酸化特性	本製品は酸化性物質としては分類されない。
表面張力	データなし
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない
避けるべき条件	指示通り使用すれば分解しない。
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	通常の下条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報	飲み込んだ場合 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合
----------------	---

急性毒性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

製品

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.03 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

成分**イソシクロセラム**

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): 4,569 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 4.62 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。 調整可能な最高濃度
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg この物質または混合物は急性の皮膚毒性はない。

皮膚腐食性/刺激性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

製品

種	ウサギ
結果	皮膚刺激性なし。

成分**イソシクロセラム**

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

製品

種	ウサギ
結果	眼への刺激性なし。

成分**イソシクロセラム**

種	ウサギ
結果	眼への刺激性なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

製剤品で試験結果が陰性なので、区分されない。

製品

試験タイプ	ビューラー法
種	モルモット

結果 皮膚感作性なし。

成分

イソシクロセラム

試験タイプ マウスリンパ腫細胞
種 マウス
結果 皮膚感作性あり。細区分1B。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

成分

イソシクロセラム

生殖細胞変異原性 - アッセメ 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。
ント

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

成分

イソシクロセラム

発がん性 - アセスメント 動物実験において発がん性の証拠はない。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。区分2

成分

イソシクロセラム

生殖毒性 - アセスメント 動物実験によると性的機能および繁殖力への悪影響があることが一部立証されている。

特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)

データが不足しているので分類されていない。

成分

イソシクロセラム

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データが不足しているので分類されていない。

成分

イソシクロセラム

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

成分**イソシクロセラム**

吸引性呼吸器有害性には分類されていない。

12. 環境影響情報**生態毒性****製品**

魚毒性	LC50 (コイ): 7.36 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (オオミジンコ): 0.185 mg/l ばく露時間: 48 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50 (淡水性緑藻): > 79.1 mg/l ばく露時間: 72 h EC10 (淡水性緑藻): > 79.1 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h 最大無影響濃度 (淡水性緑藻): 2.51 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h

成分**イソシクロセラム**

魚毒性	LC50 (ニジマス): 0.13 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (オオミジンコ): 0.52 mg/l ばく露時間: 48 h EC50 (アメリカミシス): 0.000031 mg/l ばく露時間: 48 h EC50 (ユスリカ幼生): 0.000015 mg/l ばく露時間: 48 h
藻類／水生植物に対する毒性	ErC50 (海洋珪藻): 0.27 mg/l ばく露時間: 72 h EC10 (海洋珪藻): 0.14 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h 最大無影響濃度 (海洋珪藻): 0.044 mg/l エンドポイント: 成長速度 ばく露時間: 72 h
M-ファクター (水生環境有害性短期 (急性))	10,000
魚毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (シープスヘッドミノー): 0.0081 mg/l ばく露時間: 32 d 試験タイプ: 初期生活段階
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (アメリカミシス): 0.000001 mg/l ばく露時間: 28 d

M-ファクター（水生環境有害性 100,000
 長期（慢性）
 微生物に対する毒性 EC50（活性汚泥）: > 1,000 mg/l
 ばく露時間: 3 h

残留性・分解性

成分

イソシクロセラム

生分解性 易分解性ではない。
 水中での安定性 製品は持続性ではない。

生体蓄積性

成分

イソシクロセラム

生体蓄積性 生体蓄積性がある。
 n-オクタノール／水分配係数 log Pow: 4.9 (20 °C)
 (log 値)

土壌中の移動性

成分

イソシクロセラム

環境中の分布 移動しない。
 土中での安定性 消失時間: 112.94 d
 消失割合: 50 % (DT50)
 製品は持続性ではない。

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

成分

イソシクロセラム

PBT および vPvB の評価結果 物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
 廃棄物を下水へ排出してはならない。
 可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用する方が好ましい。
 リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。

汚染容器及び包装

残りの内容物を空にすること。
 容器は 3 回すすぐ。
 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
 空の容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号 UN 3082

国連輸送名	環境有害物質(液体)(イソシクロセラム)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

航空輸送(IATA-DGR)

国連番号 UN 3082

国連輸送名	環境有害物質(液体)(イソシクロセラム)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル (Labels)	その他の危険物(クラス9)
梱包指示(貨物機) (Packing instruction (cargo air-craft))	964
梱包指示(旅客機) (Packing instruction (cargo air-craft))	964
環境有害性	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 UN 3082

国連輸送名	環境有害物質(液体)(イソシクロセラム)
国連分類	9
容器等級	III
ラベル	9
EmS コード (EmS Code)	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
備考	この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照。

緊急時応急措置指針番号 171

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

登録番号第 25047 号

消防法

第四類, 第三石油類, 水溶性液体, (4000 リットル), 危険等級III

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第594条の2)

非該当

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

その他の略語全文

ACGIH	米国。ACGIH 限界閾値(TLV)
ACGIH / TWA	8 時間、時間加重平均
日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-M	許容濃度

改訂履歴

前版発行年月	項目	改訂箇所および内容	改訂理由
2025 年 10 月 (第 1 版)	2 項	安全対策 追加(P203) 削除(P201,P202)	JIS 改正による見直し
		応急措置 追加(P318) 削除(P308+P313)	
	3 項	組成記載変更	Syngenta global データ改訂による見直し
	8 項	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度 化学物質及び出典年度追加	Syngenta global データ改訂による見直し
	11 項	成分データ削除 (N,N,N',N',2-ペンタメチルペ ンタンジアミドとメチル=2-エチル-N,N-ジメチルス クシンアマトとメチル=5-(ジメチルアミノ)-2-メチ ル-5-オキソペンタノアート(主成分)の混合物)	Syngenta global データ改訂による見直し
	12 項	成分データ削除 (N,N,N',N',2-ペンタメチルペ ンタンジアミドとメチル=2-エチル-N,N-ジメチルス クシンアマトとメチル=5-(ジメチルアミノ)-2-メチ ル-5-オキソペンタノアート(主成分)の混合物)	Syngenta global データ改訂による見直し
	15 項	登録番号追加	農薬取締法
16 項	その他の情報文言変更	JIS Z 7252, JIS Z 7253 2025 に準拠	